

# 唐代科举の文学世界



[唐代科举の文学世界 下载链接1](#)

著者:高木重俊

出版者:研文出版

出版时间:2009-2

装帧:单行本

isbn:9784876362950

中国史上はじめて科举という社会的事象が定着し、士人の精神や人生に新たな影響を与えたのは唐代の三百年である。詩文をもって選抜する試験は、文学史に初めて新たな題材を提供しただけでなく、以後千年にわたり、良きにつけ悪きにつけてモデルとなった。科举の歴史的展開と変遷を見るためにも、唐代の科举文学の世界は重要なのである。ただ、話題は科举だけにとどまらず、銓選(任官選考)や推挙を要請する士人の行動にも及んでいる。名利の世界への飛翔を願った唐代の知識人が、科举と銓選という選抜のシステムにいかに立ち向かい、その得喪の結果から生じた思いをいかに文字に託したか、さらにまた、幸いに官人としての身分を得ても、およそ順調な官僚生活とは無縁だった大多数の士人たちが、文章に託してどんなメッセージを歴史に書き込んだのかを見ようとした。

作者介绍:

高木重俊，1944年、長野県生まれ。東京教育大学大学院文学研究科修士課程修了。  
北海道教育大学教授。文学博士

目录: 第1章 「至公」に寄せる思い  
 はじめに  
 古代の伝承から ほか  
 第2章 韻文篇  
 受験生たちの長安  
 及第詩 ほか  
 第3章 散文篇  
 干謁の文章  
 筆記小説から  
 第4章 貢举・銓選と「文章」  
 はじめに  
 文章と経国・立身 ほか  
 第5章 詩人任華の咆哮  
 任華における李白・杜甫  
 任華の自薦と文学  
 ・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[唐代科举の文学世界\\_ 下载链接1\\_](#)

标签

评论

-----  
[唐代科举の文学世界\\_ 下载链接1\\_](#)

书评

-----  
[唐代科举の文学世界\\_ 下载链接1\\_](#)